当病院をご利用のみなさまへ

1. 当院は、急性期一般入院料 4 171 床（うち地域包括ケア入院医療管理料 1 14 床）及び地域包括ケア病棟入院料 1 28 床で許可病床数 199 床の病院で、入院患者数は 1 日平均約 136 人です。
3・4・5 階病棟では、急性期一般入院料 4（うち 5 階病棟 地域包括ケア入院医療管理料 1 14 床）を算定し、1 日に 13 人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。なお、時間帯毎の配置は次のとおりです。
 - ・朝 9 時～夕方 17 時まで、看護職員 1 人当たりの受け持ち数は 4 人以内です。
 - ・夕方 17 時～翌朝 9 時まで、看護職員 1 人当たりの受け持ち数は 13 人以内です。6 階病棟では、地域包括ケア病棟入院料 1 を算定し、1 日に 7 人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。なお、時間帯毎の配置は次のとおりです。
 - ・朝 9 時～夕方 17 時まで、看護職員 1 人当たりの受け持ち数は 4 人以内です。
 - ・夕方 17 時～翌朝 9 時まで、看護職員 1 人当たりの受け持ち数は 11 人以内です。
2. 当院は、患者負担による付き添い看護を求めることはありません。
3. 当院は、救急医療管理加算、診療録管理体制加算 3、急性期看護補助体制加算 25 対 1、療養環境加算、テラ提出加算 2 口、がん性疼痛緩和指導管理料、外来リハビリテーション診療料、薬剤管理指導料、神経学的検査、医療機器安全管理料 1、検体検査管理加算Ⅱ、心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算、画像診断管理加算 2、CT 撮影及び MRI 撮影、冠動脈 CT 撮影加算、心臓 MRI 撮影加算、外来化学療法加算 2、心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ、脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ、運動器リハビリテーション料Ⅰ、呼吸器リハビリテーション料Ⅰ、初期加算及び急性期リハビリテーション加算、がん患者リハビリテーション料、コンタクトレンズ検査料 1、硬膜外自家血注入、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術、体外衝撃波胆石破碎術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、大動脈バルーンポンピング法（IABP 法）、経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術、医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術、医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 16 に掲げる手術、胃造設時嚥下機能評価加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、遺伝学的検査、認知症ケア加算 2、がん治療連携指導料、感染対策向上加算 2、連携強化加算、サベィランス加算、人工腎臓 1、導入期加算 1、「第 14 の 2」の 1 の(3)に規定する在宅療養支援病院、機能強化加算、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料、夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる救急搬送看護体制加算 1、小児運動器疾患指導管理料、超急性期脳卒中加算、せん妄ハイリスク患者ケア加算、重症者等療養環境特別加算、看護職員夜間配置加算 16 対 1 配置加算 1、脳波検査判断料 1、麻酔管理料 1、外来腫瘍化学療法診療料 2、膀胱水圧拡張術及びハナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）、入退院支援加算 1、総合機能評価加算、入院時支援加算、下肢創傷処置管理料、医療安全対策加算 1、報告書管理体制加算、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術、看護職員処遇改善評価料 35、医師事務作業補助体制加算 1 40 対 1 補助体制加算、外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）、入院ベースアップ評価料 55、静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）、医療 DX 推進体制整備加算の施設基準に適合している保険医療機関です。
4. 当院は、入院時食事療養（Ⅰ）の届出を行っており、管理栄養士又は栄養士によって管理された食事を適時（夕食については午後 6 時以降）、適温で提供しています。
5. 入院にあたり、特別室の利用を希望される場合は、別途室料（消費税含）が必要となります。
個室：13,200 円（UB、トイレ、TV、冷蔵庫） 4 階病棟（466 号室）1 床
6,050 円（シャワー、トイレ、TV、冷蔵庫） 3 階病棟（313、315 号室）2 床、4 階病棟（413、415 号室）2 床、5 階病棟（513、515 号室）2 床
6,050 円（UB、トイレ、TV、冷蔵庫） 4 階病棟（453、455、458 号室）3 床
5,500 円（トイレ、TV、冷蔵庫） 3 階病棟（308、310、311、312、352、353、355、356、357、358、360、363、365、366、367 号室）15 床、4 階病棟（408、410、411、412、456、457、460、462、463、467、468、470、471 号室）13 床、5 階病棟（510、511、512、560、561 号室）5 床

回数を超えて受けた診療であって別に厚生労働大臣が定めるもの（患者さんの治療に対する意欲を高める必要がある場合）は 1 単位につき、心大血管疾患リハビリテーション 2,255 円、脳血管疾患等リハビリテーション 2,695 円、廃用症候群リハビリテーション 1,980 円、運動器リハビリテーション 2,035 円、呼吸器リハビリテーション 1,925 円が必要になります。
入院期間が 180 日を超える入院については、厚生労働大臣が定める状態にある患者さんを除きまして、別途料金 1 日につき 2,376 円が必要になります。
6. 当院では、次の項目など治療目的以外のものについて、その使用量、利用回数に応じた実費の負担（消費税含）をお願いしています。
テレビ使用料 1 日 550 円、冷蔵庫使用料 1 日 330 円、浴衣 1 着 3,300 円、病衣 1 日 165 円、紙おむつ 1 回 165 円、尿とりパット 1 回 33 円。

公的保険給付とは関係のない文書料金は 1 通につき、一般診断書 2,200 円、死亡診断書 8,250 円、生命保険用診断書 3,300 円、各種障害用診断書 11,000 円、死体検案書 11,000 円、裁判用診断書 11,000 円、身体障害者診断書 11,000 円、厚生年金等障害認定診断書 11,000 円、各種営業免許申請時の健康診断書 3,300 円、後遺障害診断書 11,000 円、診断書（警察提出用）3,300 円、自賠責明細書 3,300 円、自賠責診断書 5,500 円、介護各種証明書 5,500 円、各種証明書 3,300 円、年金診断書 11,000 円、受診状況等証明書 3,300 円、自立支援診断書 5,500 円、捜査関係事項照会書 5,500 円、

健康診断個人票（雇用時）11,550 円、診断書（福井県公安提出用認知症用）11,000 円、保険会社用回答書 11,000 円、領収証明書 550 円、臨床検査個人票 5,500 円、おむつ使用証明書 3,300 円、回答書（1 枚の場合 5,500 円・複数枚の場合 1 枚につき 3,300 円）、院外健康診断個人票（保険点数計算）です。
なお、衛生材料等の治療（看護）行為及びそれに密接に関連した「サービス」や「物」についての費用の徴収や、「施設管理費」等の曖昧な名目での費用の徴収は、一切認められていません。

7. 当院での令和 6 年手術件数

区分 1 に分類される手術：頭蓋内腫瘍摘出術等 7 件、黄斑下手術等 0 件、鼓室形成手術等 0 件、肺悪性腫瘍手術等 0 件、

経皮的カテーテル心筋焼灼術 0 件

区分 2 に分類される手術：靭帯断裂形成手術等 0 件、水頭症手術等 14 件、鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等 0 件、尿道形成手術等 0 件、角膜移植術 0 件、

肝切除術等 0 件、子宮附属器悪性腫瘍手術等 0 件

区分 3 に分類される手術：上顎骨形成術等 0 件、上顎骨悪性腫瘍手術等 0 件、パセドウ甲状腺全摘（亜全的）術（両葉） 0 件、母指化手術等 0 件、

内反足手術等 0 件、食道切除再建術等 0 件、同種死体腎移植術等 0 件

区分 4 に分類される手術（胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術 90 件

その他の区分に分類される手術：人工関節置換術 3 件、乳児外科施設基準対象手術 0 件、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 35 件、

冠動脈、大動脈パパス移植術（人工心臓を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術 0 件

経皮的冠動脈形成術 19 件（急性心筋梗塞に対するもの 4 件、不安定狭心症に対するもの 1 件、その他のもの 14 件）

経皮的冠動脈粥腫切除術 0 件

経皮的冠動脈ステント留置術 118 件（急性心筋梗塞に対するもの 27 件、不安定狭心症に対するもの 18 件、その他のもの 73 件）

8. 当院での保険医療機関、公費負担医療機関及びその他の医療機関の種類

保険医療機関、労災保険指定医療機関、指定自立支援医療機関（精神通院医療）、指定自立支援医療機関（更生医療）、身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関、生活保護法指定医療機関、結核指定医療機関、臨床研修病院、指定小児慢性特定疾病医療機関、へき地医療拠点病院

（以上詳細につきましては、受付までお問い合わせください。）

管理者 中村病院院長 野口 善之